

親子の会話、応援し隊

思いやりのある子 ～親子のきずな～ 優しい子



特に改まるのではなく、気軽にいつでも声をかける。それで十分です。最近の子ども達は、人とコミュニケーションがとれない、他人の気持ちが理解できないなど、人間関係を築くことが苦手な傾向が見られます。親子の会話(話を聞いてくれる・気持ちを分かってくれる・叱ってくれる)の積み重ねが人間関係づくりの基盤です。

子どもの話に 耳を傾けて

聞いてほしいのが本心です。子どもと同じ立場で、しっかりと話を受け止めてください。聞く(聴く)ことが、コミュニケーションの第一歩です。

「おはよう」 「ありがとう」

あいさつをすること、返事をすることが基本です。感謝の言葉も大切です。いつでもどこでも、まず、元気一杯あいさつをする習慣を身につけましょう。

良いところを 見つけて

誰でも、ほめてもらうとうれしいものです。それが、「がんばる」エネルギーになります。そのエネルギーが、次の意欲や行動につながります。

励ましの声かけ

つらいとき、落ち込んでいるとき、ちょっとした声かけが、背中を押してくれます。何気ない一言は、大きな勇気を与えてくれます。

小さいときから、こんな親子関係、
こんな会話の中で育った子ども達は、大きくなっても相手の気持ちを理解でき、
他人とコミュニケーションがとれるでしょう!

親子の会話で

「同じ時間を過ごす喜び」を味わおう

会話の場面 食事どき、入浴中、テレビを見ている時、車で移動中 など

会話のスタート 大人(父母・祖父母)から声を掛ける(大人の会話にも巻き込もう)

会話の内容 「話のタネ」はいっぱいあります。子どもの世界は「家庭」と「学校」です。親は、先に生まれた「人生の先生」です。過去・現在・未来の話し手です。

家庭

家庭のこと、子どもが興味・関心を持っていること、地域の行事のこと など

学校

勉強のこと、友達のこと、部活のこと、行事のこと など

体験

小学校時代～大人、楽しかったこと、悩んだこと など



単身赴任中のお父さん。
土曜の夜は早く帰って来てね。
話したいこと一週間分
貯めて待っているよ。
羽咋中学校2年女子
(三行詩コンクール27年度優秀賞)

第3回家族会議
今日の議題は
「運動会の弁当の中身について」
パパのリクエストが一番多い
小丸山小学校保護者
(三行詩コンクール28年度優秀賞)



「あなたが大切である」ことを伝えよう

自分はダメな人間だと思ふことがある
(「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した者の割合)



(参照資料 平成27年8月報告 青少年研究センター)
調査期間:平成26年9月-11月 調査対象:1~3年高校生
(日本 1850人 アメリカ 1560人 中国2518人)

自分に自信を持てる子ども
自分に誇りを持てる子ども



(参照 真生会富山病院 明橋 大二先生)

石川県小中学校長会 〒920-0918 金沢市尾山町10番5号 石川県文教会館内
TEL(076)262-4916/FAX(076)262-9788

石川県PTA連合会 〒920-0918 金沢市尾山町10番5号 石川県文教会館内
TEL(076)261-3887/FAX(076)261-7811